

<第2議案>

2017年度収支決算(案)

8～9ページの2017年度損益計算書(自2017年1月1日 至2017年12月31日)と貸借対照表(2017年12月31日現在)をもって、2017年度収支決算とする。損益計算書は、「一般会計」と「将来計画資金会計」に区分して示してある。

I 損益計算書

2017年度決算のポイントは以下の通りである。

1. 全体として

将来計画資金として計上されていた575万円あまりを収益に、前年度から繰り越された240万円余りの赤字を費用に組み入れた。

2017年度の単年度の収支は約10万円の黒字となった。

2. 会費収入について

会費収入は対予算比約74万円の減収であり、予算額の約88%である。

3. 事業収入・支出について

「イアブック」2015-17年版の発行が11月下旬に遅れた結果、見込んでいた書籍販売収入(160万円)のうち、達成できたのは約96万円であるが、支出82万円と差し引きで約14万円の収益増である。

4. 寄付金収入、助成金収入について

寄付金収入については、全体として目標額の約80%にとどまった。海外派遣寄付金については大口の寄付があり、対予算比で約76万円が超過達成されたものの、一般寄付金の決算額は予算額を約126万円、下回った。

一方、助成金収入はよこはま夢ファンドを活用し、大口の寄付が寄せられたこともあり目標(予算)の145%を達成した。

5. 管理費支出について

管理費支出全体としては、予算執行率86.5%となった。8月末に職員1名が退職し、その補充をしなかったためである。

II 貸借対照表

以上の損益計算書を反映させた結果、2017年12月31日現在の正味財産は、約346万円(当期正味財産約10万円増)となる。